

# 知道 CHIDO-KAIHO 会報

# 96

編集 知道会広報委員会  
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1  
茨城県立水戸第一高等学校内  
発行人 鬼澤邦夫  
発行日 令和2年5月1日  
通巻 第96号  
メール chidokai\_mito@chidokai.jp  
H P www.chidokai.jp

目次	『夜のピクニック』再演	1
	第43回代議員回	3
	一高だより	4
	学年・地域等同窓会	6

## 2020年9月 再演決定!水戸芸術館開館30周年記念事業 音楽劇『夜のピクニック』2020年9月26日(土)～10月4日(日)

2016年、水戸を感動で包み込んだ音楽劇『夜のピクニック』が帰ってくる!

～みんなと夜歩く それだけで  
どうしてこんなに特別なんだろう～

原作:恩田陸『夜のピクニック』  
(新潮文庫刊)

脚本:高橋知伽江

演出:深作健太

作曲・音楽監督:扇谷研人

企画制作:水戸芸術館ACM劇場

芸術監督:井上桂

企画協力:新潮社

恩田陸さん(昭58卒)作の同名小説の初舞台化作品、待望の再演が決定しました。水戸一高の伝統行事である「歩く会」をモデルに描かれた原作は、吉川英治文学新人賞と第2回本屋大賞を受賞。2016年、前水戸芸術館芸術監督で、現在は日本を代表する劇作家・翻訳家として活躍の高橋知伽江さん(『アナと雪の女王』翻訳・訳詞、オリジナルミュージカル『生きる』脚本)により音楽劇として舞台化され、大反響を呼びました。

演出は、前回に続いて映画監督としてだけでなく演劇やオペラの演出でも注目を集める深作健太氏(深作欣二氏<昭23卒>のご子息)。メインキャストとして元宝塚歌劇団のトップスター・剣 幸さんと茨城県出身で歌手・女優としても評価の高い吉川 友さん、さらに俳優のみならずアーティストとしてライブ活動も積極的に行う加藤



2016年初演より(撮影:刑部アツシ 提供:水戸芸術館)

良輔さんが初演に引き続き出演。新たに、いばらき大使としても活躍している声優・俳優の安達勇人さんとミュージカル界の若き俊英・北川理恵さんも参加が決定、脚本も新たに加筆され、さらにパワーアップされた内容になります。初演を見逃している方はもちろん、前回ご覧になった方も新たに生まれ変わる音楽劇『夜のピクニック』をぜひご観劇ください。

### 恩田陸さんコメント (初演時パンフレットより)

思いがけなく舞台化されることになり、本当に小説の「舞台」となった水戸の地で公演されることになった。つくづく幸運な小説だと思う。こうなると、もはや自分のものとは思えない。この小説は、皆さんのものだ。ぜひとも、今度は舞台上で「あの感じ」を共有していただければと切に願っている。

チケット情報 最新情報は水戸芸術館公式ホームページをご確認ください。

全席指定 S席 5,000円 A席 4,500円 B席 4,000円

U-25 3,000円(25歳以下対象、要年齢確認、A,B席対象) 予定  
一般前売 2020年7月4日 9:30～

窓口 エントランスホール内チケットカウンター  
(営業時間 9:30～18:00/月曜休館)

お電話チケット予約センター

TEL: 029-225-3555 (営業時間 9:30～18:00/月曜休館)

WEB <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

お問合せ 水戸芸術館(代表) TEL: 029-227-8111

生徒観劇会募金を開始!(詳しくは2面)

今年の「会員の集い」は11月28日(土)水戸京成ホテルで開催します

## 生徒観劇会募金を開始します ～募金目標金額200万円 特典もご用意～

音楽劇「夜のピクニック」の再演にあたり、知道会では2016（平成28）年の初演時に引き続き今回も生徒観劇会の実現に協力することに致しました。

今回は会員の皆様からお預りしました募金約230万円により2公演を貸切として在校生（1、2年生全員と3年生希望者）による生徒観劇会を実現することが出来ましたが、今回も同様の生徒観劇会を企画します。

水戸一高では昨年10月の歩く会が台風19号の影響により中止され、現在の在校生のうち実際に歩く会を経験しているのは3年生のみということもあって、劇中に行事の情景を描き、校名や行事名、校歌もそのまま使用されるこの音楽劇で少しでも雰囲気を感じてもらいたいと考えております。また、原作者だけでなく出演者・制作スタッフなどにも本校卒業生や関係者が多く参加する舞台を観ることは、在校生が卒業生の創作活動に直に触れながら母校の伝統理解をより深める良い機会になることでしょう。

募金は同封の振込用紙をお使いいただくか、下記口座へお振込み下さい。銀行振込の場合は判別のためお名前ほかに必ず卒年（S50、H5など）を付けて下さい。

ご協力をいただきました皆様のご芳名を記したパンフレットを観劇会当日に配布するほか、8月末日までに1万円以上のご協力をいただいた方には最終の通し稽古（ゲネプロ）にご招待を予定しております。該当の方には改めてご案内いたします。

なお、今後の新型コロナウイルス感染の動向により公演自体が中止、あるいは生徒観劇会が中止となった場合には、お寄せいただきました募金は別途母校支援のために使わせていただきますことをご了承下さい。

生徒観劇会の実現に向け、知道会会員の皆様のご支援をお願いいたします。

### 銀行振込口座

常陽銀行 本店営業部 普通  
6942829 チドウカイジムキ  
ョク トクナガ ミカ

## 卒業生への記念品が新しくなりました

知道会では毎年卒業生に贈る「卒業記念品」を今期から刷新しました。

昨年までは、筒形の卒業証書入れ、校章校是入りの手拭い、マグカップ（以前は湯呑み）を贈っていましたが、卒業生により喜んでもらえるもの、長く使ってもらえるものというご意見を反映して、69期から記念品予算を増額し内容を見直しました。

今期からの記念品のうち校章入りマグカップは従来のもと同じで、女性にも使いやすい大きさの笠間焼のカップの表面には型で押した小さな校章が散りばめられています。

卒業証書ホルダーはブック型、背付きで証書に折り目が付かないタイプのもので表面は臙脂色のスエード調、表紙に箔押しで校章と校名、背にも校名を入れてあり、本棚にも収められるものになっています。

トートバッグはコットン製、船底型のマチ付きでA4ファイルなども入れられるサイズ。校章のワンポイント入りで日常でも使いやすいものです。

以上の3点に卒業を祝う知道会からのメッセージカードを添えて、3月1日挙行的卒業式に合わせ卒業生320名に贈呈しました。当日には折からの新型コロナウイルス流行に対応する水戸一高の卒業式の模様をNHKの首都圏ニュースでも取り上げられ、新しい卒業証書ホルダーを胸に抱いた卒業生がインタビューに答える姿が放映されました。

卒業生や保護者からも好評です。永く使っていただき、時おり母校を思い出していただくきっかけの品となれば幸いです。



## 「知道会会員の集い」 幹事学年からのメッセージ

### 平成元年卒

私たちが卒業した年は、ベルリンの壁崩壊、冷戦終結、天安門事件と世界が民主化に大きく進んだ年でした。また国内では元号が変わった年であり、共通一次テストが行われた最後の年でもありました。

そして一昨年、卒業以来30年ぶりとなる大規模な同窓会が開催され、150人もの同窓生が集まりました。それ以来、みると旧交が深まり、「女子会」や「クラス会」「ゴルフコンペ」など規模を問わずあちこちで同窓会が盛り上がっています。

この度、幹事を引き受けることとなった令和2年は、今まさに地球史に残る未曾有の感染ウイルスとの戦いの渦中にあります。母校も休校が続いて大変な状況にあると聞きます。しかし、会員の集いが開かれる11月には、日本も世界も、復興に向けて着実に立ち上がっていると信じています。

そんな今年の「会員の集い」の幹事は、平成元年卒の団結力と、ともに幹事を担う平成11年卒、平成21年卒がワンチームとなって、成功に導きます。11月28日にご期待ください。

大井健史



2019年8月ゴルフ会後の懇親会(友部)

### 平成11年卒

卒業からあっという間に20年となりました。私たち平成11年卒は、在学3年の時に甲子園で松坂選手を見ながらすごした「松坂世代」の学年です。当時を振り返ってみると、入学したときに学校は校舎改築の真っ最中。新校舎／旧校舎／プレハブを全て行き来した学年として珍しい学年かもしれません。また、第2回インドネシア高校生招聘が行われた時期で、文化交流会では素敵な民族舞踊も披露してもらいました。



世間では、サッカーW杯に日本代表が初出場したり、長野で冬季オリンピックが開催されたりと熱くなることが多かった時期です。この時期に、移動通信はポケットベルから携帯電話に移行していきました。学校の昇降口近くにあった公衆電話BOXはポケットベル連絡の人で行列ができていたことが懐かしいです。

今はスマートフォンでFacebookなどを通じてつながっている皆様もいると思います。会員の集いでは顔を合わせて再会ができ、新たなつながりを深める場となります。今回は皆様に楽しんでいただけるよう、幹事学年としてがんばりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

和知忠道



歩く会の様子

## 平成21年卒

今回、偶然水戸一高OBの方とお会いし、初めて自分たちの学年が幹事学年であることを知りました。これも何かの縁かと思い、僣越ながら幹事の任を引き受けさせていただきました。

そんな私たちも30歳を迎え、気付けば卒業から11年が経過しました。在学時代にはまさか自国で五輪が開催されるとは夢にも思っておらず、また、コロナウイルスの世界的な蔓延により史上初の五輪の延期も経験することさえ想定外でした。

このコロナ禍において、自由に外出ができない苦しさを知った今だからこそ、時間が許せばぜひ会員の集いにご参加いただき、旧交を温めて、この2020年の思い出の一つにするのはいかがでしょうか。

嶋原・後藤・荒川

## 令和元年知道会会員の集い開催報告

令和元年11月16日(土)水戸京成ホテルにおいて「知道会会員の集い」が開催されました。昭和63年卒・平成10年卒・平成20年卒の幹事学年の準備・企画・進行のもと、300名

以上の参加で賑やかに開催されました。

知道会において支援させていただいております、「生徒海外派遣プログラム」(3月に本校生徒40名がアメリカ合衆国に派遣され、実施されました)について、参加した生徒による報告が行われた後、「美術館の使いみち」と題して国立近代美術館美術課長である大谷省吾氏(昭63卒)による講演が行われました。

懇親会では鬼澤会長(昭38卒)、高村学校長(昭56卒)の挨拶の後、後藤顧問(昭19卒)の発声により乾杯、懇談となりました。その後、本校卒業50周年を迎える昭和44年卒の会員の皆様よりご挨拶をいただきました。また余興では「映像で見る令和の水戸一高」のスクリーンでの紹介や、音楽劇「夜のピクニック」の紹介など盛り沢山の内容で会場は大いに盛り上がりました。最後に来年度幹事の平成元年・平成11年・平成21年卒へ幹事の印である軍配と法被が引き継がれ、校歌を斉唱、サプライズで11月末より南極観測隊に参加する北澤佑子氏(平17卒)へのエールをおくり、盛況のうちに閉会となりました。

次回の会員の集いは令和2年11月28日(土)水戸京成ホテルにて開催予定です。平成卒以下の若手会員や女性会員の参加も増えており、幅広い年代の卒業生が交流できる場として、より賑やかな集いとなっております。次回の知道会会員の集いもより多くの級友、先輩後輩との再会、情報交換ができますよう、会員の皆様のより一層のご参加を心よりお待ち申し上げております。



## 第69期第43回代議員会

第69期(令和元年10月~令和2年9月)第43回代議員会が令和元

年11月16日(土)知道会会員の集いに先立ち13時から水戸京成ホテルにおいて開催されました。審議等概要は以下の通りです。

- (1) 第68期事業報告として委員会活動と事業、母校助成協力事業、母校創立140周年記念事業および学年・地域・職域知道会の活動状況が河野幹事長から報告され、了承されました。
- (2) 第68期決算について関田財務委員長から、監査結果について小野瀬監事から報告がされ、承認されました。
- (3) 第68期の事業計画案が河野幹事長から説明され、原案通り承認されました。
- (4) 第68期の予算案が関田財務委員長から説明され、原案通り承認されました。
- (5) 母校創立140周年記念事業における報告が収支と今後の資産の対応も含め河野幹事長より報告され、了承されました。

## 第69期 収支予算書

令和元年10月1日  
至令和2年9月30日

収入の部 (単位:円)

科目	予算額 a	前期予算額 b	増減額 a-b	備考
年会費	7,500,000	8,000,000	△ 500,000	
卒業生入会金	1,600,000	1,600,000	0	新卒320名
寄附金収入	200,000	200,000	0	
会員の集い収入	2,400,000	0	2,400,000	
受取利息	2,500	5,000	△ 2,500	
特別積立金取崩	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	
140周年会計から繰入	2,000,000	1,200,000	800,000	海外派遣及び大会補助
雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入合計	(15,752,500)	(13,555,000)	(2,197,500)	
前期繰越金	(2,011,909)	(1,088,788)	(923,121)	
収入の部合計	(17,764,409)	(14,643,788)	(3,120,621)	

支出の部

科目	予算額 a	前期予算額 b	増減額 a-b	備考
運営費	(12,850,000)	(10,580,000)	(2,270,000)	
会員の集い費	2,400,000	0	2,400,000	
会議費	100,000	100,000	0	
事務局運営費	1,300,000	1,600,000	△ 300,000	
通信費	3,250,000	3,200,000	50,000	
消耗品費	150,000	100,000	50,000	
旅費交通費	200,000	150,000	50,000	
渉外費	100,000	100,000	0	
支部強化費	400,000	400,000	0	
振替手数料	700,000	650,000	50,000	
印刷費	4,200,000	4,200,000	0	
リース料	50,000	80,000	△ 30,000	
事業費	(1,150,000)	(550,000)	(600,000)	
総務委員会費	20,000	20,000	0	
財務委員会費	20,000	20,000	0	
広報委員会費	850,000	250,000	600,000	HP更新700千円
名簿委員会費	10,000	10,000	0	
親睦委員会費	150,000	150,000	0	
会費納入促進対策費	100,000	100,000	0	
母校助成費	(3,340,000)	(2,920,000)	(420,000)	
卒業記念品費	640,000	520,000	120,000	
大会補助金	800,000	800,000	0	※1
卒業生褒賞費	400,000	400,000	0	
海外派遣助成費	1,500,000	1,200,000	300,000	※2
特別積立金繰入	(0)	(0)	(0)	
予備費	(424,409)	(593,788)	(△ 169,379)	
当期支出合計	(17,764,409)	(14,643,788)	(3,120,621)	
次期繰越金	(0)	(0)	(0)	
支出の部合計	(17,764,409)	(14,643,788)	(3,120,621)	

※1 生徒の大会出場交通費に対する140周年記念事業基金を原資とした助成

※2 「生徒海外派遣プログラム」に対する140周年記念事業基金を原資とした助成

# EVENTS

令和元年

10月

17日 総務委員会 知道会会員の集い第6回実行委員会

19日～10月20日

第71回 水戸一高歩く会 (中止)

26日 第69期第1回幹事会

11月

15日 日立知道会総会

16日 令和元年(第69期)第42回代議員会

16日 令和元年 知道会会員の集い

16日 昭和63年卒、平成10年卒、平成20年卒同窓会

17日 瓜連知道会定時総会

12月

4日 社会人インタビュー

7日 西日本水中一高会総会・懇親会

8日 桜川市知道会総会

14日 東京知道会 忘年会

令和2年

1月

2日 ありがとう会(昭和39年卒)総会

2月

16日 笠間知道会講演会

22日 東京知道会同窓の集い(中止)

25日 水戸一高「知道プロジェクト」発表会

27日 広報委員会 会報96号編集会議

3月

14日 五軒知道会総会(中止)

1日 水戸一高卒業式

4日 三四会総会(中止)

4月

7日 水戸一高入学式

24日 広報委員会 会報96号校正会議(書面開催)

25日 第69期第2回幹事会(書面開催)

## 令和2年度定期人事異動

次の方々が異動された。

### 1 退職(教科および在職年数)

青木 秀則(理科、13年)  
水戸一高(常勤講師)

川野遼泰司(書道、14年)  
水戸南高(再任用教諭)

豊崎 利明(数学、2年)  
齋須 克久(体育、1年)  
麻生高(新採)

井上 八雲(国語、1年)

### 2 昇任

海老澤浩一(教頭、1年)  
潮来高へ(校長)

柴崎 孝浩(数学、16年)  
(教頭)

### 3 転出

鈴木 隆一(英語、10年)  
日立北高へ

山崎 智美(理科、10年)  
鉦田北中へ

石井 典子(英語、7年)  
太田一高へ

関口 周美(国語、7年)  
鉦田一高へ

山田 直也(体育、7年)  
那珂湊高へ

飯島 正和(数学、5年)  
佐和高へ

矢田部美紀(事務、4年)  
水戸三高へ

播田実一也(事務、2年)  
教育庁財務課へ

### 4 転入(学校名は前任校)

細貝 雅之(教頭、太田一・定高)

山縣 弘幹(数学、高萩清松高)

伊藤 文詔(理科、日立一高)

斧田 典之(国語、勝田高)

藤枝 咲絵(書道、麻生高)

中根 満(数学、中央高)

花沢 典行(英語、取手一高)

本橋 康範(体育、八千代高)

薄井 大輔(英語、見川中)

ガレガーケーシー  
(英語、新規採用)

平山 弘子  
(事務、県西教育事務所)

小川 直人

(事務、水戸特別支援学校)

宮内 健一

(数学、医学コース担当)

佐藤 英俊(英語、初任研加配)

南雲 慎也(体育)

## 入試結果と進路状況

主な大学の合格者数を以下に記す。( )内は現役合格者数。

### ○国立大学

北海道大	13 (9)
東北大	31 (19)
茨城大	33 (23)
筑波大	34 (23)
埼玉大	7 (6)
千葉大	20 (14)
お茶の水女子大	1 (0)
東京大	8 (5)
東京医科歯科大	2 (2)
東京外語大	1 (1)
東京学芸大	4 (3)
東京工業大	3 (0)
一橋大	1 (1)
横浜国立大	9 (4)
名古屋大	2 (0)
京都大	5 (2)
大阪大	2 (0)
神戸大	4 (3)
九州大	2 (2)

### ○私立大学

青山学院大	17 (4)
慶應義塾大	22 (9)
上智大	11 (6)
中央大	60 (28)
東京理科大	82 (28)
法政大	45 (26)
明治大	86 (42)
立教大	40 (28)
早稲田大	44 (18)

### ○医学部医学科

国公立	20 (11)
私立	30 (2)

(令和2年4月1日現在)

このページでは、この夏、全国レベル以上で活躍した個人・団体の紹介をします。

## 棋道部 第35回関東地区高等学校囲碁選手権大会 出場(団体、個人)

令和2年1月18・19日に栃木県宇都宮市の栃木県教育会館で開催された関東大会に、団体戦男子本県代表(2校)として渡部仁(28)・田隅響介(22)・海老原維久(13)によるチームが、また個人戦男子9路盤本県代表(2名)の一員として渡部仁が参加した。結果は、団体戦が1勝3敗で13位、個人戦は11勝4敗で4位に入賞した。これにより渡部は第14回全国高等学校囲碁選抜大会同種目への出場権を獲得し、団体・個人、男子・女子を通じ茨城県からは唯一の選抜推薦選手となった(大会は3月21~22日・大阪商業大学での開催が予定されたが新型コロナウイルス感染拡大防止対策により残念ながら中止)。団体戦を含む遠征によって部員の連帯や親睦を深め、人間力を高めることができた大会であった。



左から渡部(28) 田隅(22) 海老原(13)



渡部 個人戦男子9路盤戦



渡部 表彰式

## 吹奏楽部 第24回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト出場決定 日本サクソフォン協会主催 第17回アンサンブル・コンクール本選 金賞受賞

令和2年2月23日に国立音楽大学で開催された、第18回JBA関東甲信越支部 中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに、本県代表であるフルートの藤枝麻里花(23)とクラリネットの大峽航太(21)が参加して、藤枝が第2位となり、3月25日に昭和音楽大学で行われる全国大会出場権を得た(新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催中止)。また3月1日にもみじホール城山(神奈川県相模原市)で行われた、日本サクソフォン協会主催 第17回アンサンブル・コンクール本選にてサクソフォン・パートの5名が本校では初めて金賞を受賞した。メンバーは、ソプラノ 宗像あやな(22)・第1アルト 池田空美子(14)・第2アルト 大和田菜月(22)・テナー 板垣青樹(28)・バリトン 軍司晏佳(14)。保護者の協力のもと、全国大会に参加することができ、改めて感謝の気持ちを持って練習に励みたいと部員・顧問一同感じている。



藤枝(23)



左から宗像(22) 板垣(28) 軍司(14) 大和田(22) 池田(14)

## 第69回全国高等学校総合体育大会全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 出場 第75回国民体育大会冬季大会スケート(スピード)競技会 出場

令和2年1月23日(木)~26日(日)に北海道帯広市で令和元年度全国高等学校総合体育大会スケート競技、続く1月29日(水)~2月2日(日)に青森県八戸市で第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会が開催され、小野笑美香(16)が県代表として参加した。インターハイでは500m・1000mに出場、国体では年少女500m、年少女2000mリレーに出場し、自分の力を十分に発揮しレースを終えることができたようであった。また、全国から集まった選手と交流する機会もあり、普段の生活では体験できない貴重な経験となったと小野は振り返る。

## 天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」バレーボール競技少年男子の部 7位入賞

「いきいき茨城ゆめ国体2019」バレーボール競技少年男子の部が10月2日から5日にかけて、ひたちなか市松戸体育館と勝田工業高校体育館で開催された。本校から住谷大輔(33)が選出され、チームの勝利に貢献した。一回戦の福井県とは終始互角の攻防が続き、フルセットの末、勝利を収めた。続く2回戦は、強豪愛知県を相手にエースや大型ミドルブロッカーのクイックに苦戦するも、終盤の粘りをみせ、ストレートで撃破した。そして、準々決勝では宮城(東北高)を倒し勢いにのる宮崎県を相手に、1セット目追う展開となり、終盤まで追いつくことができず、セットを落とした。気持ちを切り替えて臨んだ2セット目では、サーブとブロックポイントで流れを掴むと、中盤の一進一退の展開から抜け出し、25-22でセットを取った。第3セットはエースの打ち合いとなり、終盤までもつれたが、最後はミスを出し、セットカウント1-2で敗



れた。その後行われた5-7位決定戦では、熊本県（鎮西高）にストレート負けを喫し、大会を7位入賞で終えた。これまで応援して下さいの皆様へ感謝申し上げます。

## 第39回全国高校生読書体験記コンクール 文部科学大臣賞受賞

本年度「第39回全国高校生読書体験記コンクール」において、本校1年生の池田渉（13）が書いた「蚊と変身」（体験書籍：フランツ・カフカ『変身』）が、全国92,591篇の応募作品の中から都道府県選考、中央選考を通過し、最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を受賞した。令和2年1月27日、東京ドームホテル「天空」の間で行われた表彰式では、選考委員の辻原登氏（芥川賞作家）、穂村弘氏（歌人）、角田光代氏（直木賞作家）をはじめとする多くの関係者を前に、受賞者（8名）を代表して受賞の喜びを語った。



池田（2列目右から4番目）

## 第14回科学地理オリンピック日本選手権 第二次選抜金メダル受賞

2月16日に、筑波大学東京キャンパス他9か所を会場に、第一次選抜を通過した全国107名を対象にした第二次選抜試験が行われた。英語による出題を含む地図・資料等の読解を中心に記述式の設問が実施され、第一次選抜試験の成績を含めた総合的な選考の結果、本校2年の田隅響介（22）が金メダル（受賞者14名）、安藏美樹子（21）が銀メダル（受賞者24名）という優秀な結果を収めた。なお、田隅は、8月上旬にトルコのイスタンブールで予定されている第17回国際地理オリンピックへの派遣をかけて、4月25日・26日に予定されている最終選抜試験に臨む。

## 弓道部OB会

水戸一高弓道部OB会「慶雲会」は、昭和55年の設立以来、昨年40周年を迎えました。OB会設立以降10年ごとに記念の会を開催してきましたが、昨年6月22日（土）には設立40周年をお祝いする会を、ホテルレイクビュー水戸で盛大に開催することができました。

OB会の会員は現在700名近々近くに達していますが、当日は初代OBから第56代OBまで実に幅広い年代の方々にお集まりいただき、世代間の会話も弾み和やかな懇談となりました。

OB会では毎年1月2日にも、一高弓道場で恒例の現役生との交換射会と総会を、夜は懇親会を開催しており、多くのOBが集まって交流を深めています。



## バレーボール部創部80周年記念行事開催の延期のお知らせとお詫び

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、参加者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、既に知道会ホームページ等でお知らせした記念行事（令和2年8月9日（日）：記念試合及び祝賀会）の開催を延期することいたしました。

今後、開催日程が決まり次第、知道会ホームページや通知などにて、改めてご案内申し上げます。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、記念誌「80年史」の発刊につきましては、令和3年8月を予定しておりますが、記念行事の開催日程の影響により変更となる可能性がありますことをご承知おきください。

皆様におかれましては、手洗いや咳エチケットなどの徹底、人の多い所の回避など、感染症予防を行い、健康にご留意ください。

## 【お問合せ先】

近重正大（昭56卒）  
TEL 090-8500-8065  
mail (chikashi@tokiwa.ac.jp)

## 昭和39年卒業55周年記念同窓会「ありがとう会」開催

昭和39年卒業55周年記念同窓会「ありがとう会」が、令和2年1月2日水戸京成ホテルにて62名の出席を得、盛大に行われました。私たちの同窓会名「ありがとう会」は39年卒・サンキューからとったものです。毎年1月2日、同じ会場で40周年間続いています。会長・副会長は5年毎に替わり今回の会長は10代目となっています。記念同窓会は5年毎に行い、20周年時から記念誌を発行し、今回で8冊目となります。また、40周年以降知道会への寄付を募り前回までで総額115万円となっています。今回も同窓生の浄財を寄付する予定です。

記念講演は、32組の工学博士、鈴木俊治君が「世界を牛耳る半導体」「ところで半導体ってなあーに？」、そして39組斉藤秀夫君率いるカントリーバンド演奏、更に今年の秋公開される32組小泉堯史監督の「峠最後のサムライ」の公開案内等がありました。

私たち同級生は今年度75歳を迎え、後期高齢者となります。でもまだまだ若い、よって後期ではなく「高貴」な高齢者として、「ありがとう」の感謝を忘れることなく活動していきたいと思っています。

幹事 小野邦夫



## 西日本水中一高会 2019年度総会報告

去る12月7日、大阪第一ホテルにて、2019年度西日本水中一高会総会が開催されました。水戸からの来賓は、高村校長先生、知道会の河野幹事長、同事務局の徳永さんの3名。初参加の2名も含め、総勢39名が

集いました。

井内会長の挨拶、来賓祝辞に続いて、議事は滞りなく進行。議事終了後の講演は、京都・宇治で僧侶をされている磯崎円大さん（昭56卒）による「遺教経（ゆいきょうぎょう）」について～仏陀の最後の説法～で、出家に至るまでの経緯を話され、後半は参加者と一緒にお経を読むという、ユニークなものになりました。

懇親会では、おなじみの顔ぶれで近況報告をしたり、同級生が卒業以来の顔合わせで懐かしい話に盛り上がったたり、フリーのテーブルで世代を超えた交流をしたりと、参加者それぞれが、思い思いに楽しんだようです。

笹沼一弘（昭58卒）



## 桜川市知道会

2019年度の総会が12月8日にあり、母校や笠間知道会からの来賓を含め23名の出席でした。当会では卒業名簿にある市内在住で30歳以上の約100名に案内を出しています。今年は13名の方からハガキで近況報告をいただきました。先輩方はもちろん若い方々とのつながりを絶やさせない小さな努力だと思っています。総会後は、「東海第2原発の再稼働の是非を問う県民投票」についての講演でした。市内の署名活動に桜川市知道会の有志が数名関わっており、東海原発の現状や県民投票についての説明が富岡彰氏（昭48卒）からありました。その後、原子力やエネルギーについての様々な意見が交わされ、学生の頃を思わせる議論



がそこここでみられ、いつになく盛り上がった宴会でした。

## 東京知道会活動報告

2019年12月14日に恒例の東京知道会忘年会を大手町サンケイプラザで行いました。参加者は80名。昭和28年卒から平成28年卒まで半世紀以上の年齢差がありましたがそこは同窓、楽しいひと時でした。

前回「同窓の集い」幹事の平成2年卒が司会と受付を務め、今回幹事の平成3年卒が2020年に向けた決意を表明、平成4年卒は壇上でまさかの代表者決定と、「繋がる」同窓会が見事に表れた会となりました。スライドショー、景品抽選会、校歌斉唱と続き、最後に集合写真を撮って楽しく散会しました。

このように2月の「同窓の集い」を楽しみにして2019年から2020年を迎えましたが…、新型コロナウイルスの国内感染が始まったため、開催中止を決定しました。皆様が開催を楽しみにし、幹事学年が一年をかけて熱心に準備を進めてきたことを考えますと、まことに残念な結果です。一日も早く新型コロナウイルスが終息し、次回「同窓の集い」に楽しく集えることを切望しています。



## 河原泰則—奇跡のコントラバシスト—への想い

河原泰則さん（昭42卒）は、世界最高峰のコントラバス奏者。あの小澤征爾さんをはじめ世界中の音楽家が河原さんの想像を超える高い技術と音楽性、そして人間性からあふれる深く温かい音色に魅了された。

1996（平成8）年、本校の同窓生を中心に茨大附属中・一橋大学の同窓生が集まり、河原さんの後援会（名称Fクレフ）を発足させた。私が本校の教員だったこともあり、事務局を担当することになった。

しかし、その時河原さんは腱鞘炎を患い演奏家生命を絶たれるかもしれないという大ピンチに陥っていた。それから3年。1999年10月の

全国7か所の復活コンサートツアーの感動は忘れられない。

以来、河原さんが首席コントラバシストであったケルン放送交響楽団をはじめ、紀尾井シンフォニエッタ東京、アルバン・ベルク弦楽四重奏団、水戸室内管弦楽団、そしてラファエル・オルグ氏、ライナー・ホーネック氏、エマニュエル・パフ氏など世界を代表する音楽家との演奏会等々をご一緒させていただいた。

その河原さんもついに引退することになった。2018年6月15日、日本での最終公演である紀尾井ホール室内管弦楽団の演奏会に行き、涙した。

そして2020年2月25日河原さん主催の感謝の集いが水戸市で行われた。Fクレフ結成から実に24年。多くの会員が集まり、河原さんと語り合った。

今回Fクレフ会員の総意で会費を母校に寄付させていただくことになった。

是非、河原さんの想いを後輩に受け継いでいただきたいと切に願う。

橘川栄作（昭56卒）



## 書籍紹介

伝統ゲーム大事典  
子供から大人まで遊べる世界の遊戯  
高橋浩徳（昭53卒）著  
朝倉書店、2020年  
7,200円＋税



著者はゲームを「始めと終わりがあがるもの」「ルールがあるもの」「勝敗があるもの」と定義している。本書は、世界各国の古いゲームを収録し、その遊び方を含めて紹介している。250種類以上が、実際に遊べるとされている。

解説を読んでも面白い。「市場の商人」というゲームは18世紀イタリアで誕生し、17歳のモーツァルトが姉に送った手紙にも出てくると言う。

動作のゲームの「ピアボン」や言葉のゲームの「私はだあれ」など、簡単にやれそうに盛り上がると感じた。



## 総務委員会

令和2年知道会会員の集い実行委員会のスタートとして、令和元年知道会会員の集い反省会並びに幹事引継ぎ会を、令和2年3月に開催予定でありましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響で延期としました。今後は令和2年11月の知道会会員の集いに向けて、幹事引継会、並びに総務委員会と本年の集いの企画運営にあたる学年幹事（平成元年、平成11年、平成21年卒）で構成される実行委員会を実施予定です。令和2年知道会会員の集いの実施詳細につきましては、随時知道会ホームページ等でお知らせ致します。

また総務委員会は今後、会員の集いのほか、東京知道会との交流企画その他、地域職域知道会や、各委員会と連携を図りながら活動して参ります。

※現在、新型コロナウイルス感染症の関係で総務委員会におきましても従来の方法での会議、イベント等の実施が困難となっております。今後の予定につきましては不透明な部分もございますが、危機管理を第一に考慮しその時の状況に応じて柔軟性をもって対応致します。

## 親睦委員会

### だれもが参加できる知道会へ

同じクラスになったことがある方もそうでない方も、同じ学年であってもなくても、クラスや学年、年齢を超えて「水戸一高」という共通項で楽しいことを企画実行するのが、親

睦委員会です。

これまでは親睦ゴルフ、ミニ歩く会、バーベキュー等を行ってきました。横に縦に関係をつなげていくために、今年度は、初心者でも楽しめるゴルフを企画していましたが、コロナ感染防止のため残念ながら中止といたします。状況が落ち着いて、また、みなさまが楽しめる企画を打ちたいと思っています。引き続きご協力をお願いします。

## 財務委員会

### 年会費の納入は口座振替で！

知道会の安定した運営のために年会費の納入にご協力をお願いいたします。また納入には便利で手間いらずの銀行等預金口座振替をご利用ください。

現在、「口座振替キャンペーン」を実施中です！令和2年5月1日から9月30日までの期間で口座振替の手続きをして頂いた方を対象にクオ・カード（1,000円）を進呈いたします。

振替依頼書は事務局より送付しておりますのでご連絡ください。

・・知道会事務局・・

TEL 029-226-3960

月・水・金 10:00~15:00

E-mail chidokai\_mito@chidokai.jp

### 物 故 者 (R1.10 ~ R2.3 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員 櫻井(西野)シン	昭24中 高倉 正男	昭30高 宇野 洋昭	昭39高 中郡 幸郎
昭7中 山口 喜正	昭25高 奥山 勝也	昭30高 高畑 一夫	昭39高 坪 久男
昭14中 坂井(大内)直	昭25高 西川 弘	昭30高 村山 公昭	昭39高 藤井(槍崎)重雄
昭17中 大津 卓郎	昭25高 伊藤(花田)達雄	昭30高 鳥居 泰彦	昭39高 村田 聡一
昭19中 照沼 信邦	昭26高 宇野 等	昭30高 榎 慎吾	昭40高 小林 孝
昭19中 下山 好男	昭26高 龍崎 実	昭30高 菊池 義貞	昭44高 大槻 和夫
昭20中⑤阿内 廉雄	昭26高 飯島 芳夫	昭30高 住谷 充夫	昭45高 寺山 孝
昭20中⑤荒川 圣	昭26高 小松崎 忠	昭31高 則元 弘士	昭45高 海老澤康裕
昭20中⑤栗原 信嗣	昭26高 名越修一郎	昭32高 太田 稔	昭45高 大森 誠司
昭20中④石川多喜男	昭27高 岡部 幸雄	昭33高 梅崎 英城	昭46高 岡野 文男
昭20中④野澤 汎	昭27高 金子 貞夫	昭33高 人見 正雄	昭55高 青柳(杉浦)美保
昭20中④塙 隆	昭28高 田上 進	昭33高 多田 邦生	昭55高 宮垣 聡
昭21中 吉成 芳郎	昭28高 前田 完治	昭33高 橋本貴久裕	昭57高 菊地 功
昭22中 雨谷 庸久	昭29高 大久保志朗	昭35高 岩田敬三郎	平5高 仲田 和博
昭22中 奥田 俊亮	昭29高 青山 陽一	昭35高 田村 智	平21高 市場 弘章
昭22中 小山 弘	昭29高 大木 歆也	昭36高 萩谷 征二	
昭22中 羽田 和夫	昭29高 平野 淑郎	昭37高 長谷川公明	
昭24中 小口準四郎	昭30高 沼尻 武	昭38高 石川 治	

## 【事務局から】

知道会では会費納入の「口座振替キャンペーン」を行っております。お申し込みはお気軽に事務局までご連絡くださいませ。また、住所変更などの登録内容変更手続きも、こちらで承ります。

事務局の運営日は祝祭日を除く月・水・金 10:00~15:00となっております。不在のため電話が繋がらない場合もございますが、その際はお手数ですが再度お掛け直し頂くか、メール(chidokai\_mito@chidokai.jp)にてご連絡をお願い致します。

## 学校基本データ

学校創立 1878年(明治11年)10月2日

令和2年 創立142年

同窓会員数 38,838名

住所判明者 21,649名

在籍生徒数 967名(男子527名 女子440名)

(令和2年4月現在)